

令和6年度 調布市立上ノ原小学校 学校経営計画（学校長 箱崎 高之）

学校の教育目標	
◎よく考え 進んで学習する子ども ○思いやりをもち 仲良くする子ども ○健康で 明るく元気な子ども	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
目指す学校像 【ごきげんな学校】 （１）児童にとって 「よろこびのある毎日が送れる学校」 【日々】 ・学んで分かるよろこび ・友達と関わることのできるよろこび ・心を解放して体を動かすよろこび 【長い目で】 ・自分の成長が実感できるよろこび ・自分の存在が認められるよろこび ・自分の将来に希望がもてるよろこび （２）保護者，地域にとって 「安心して任せられる私たちの学校」 ・よく見える学校→教育活動の積極的な発信 ・安心できる学校→素早く，丁寧で誠実な対応 ・私たちの学校→協力，協働の取組 （来校機会確保，学校 HP，すぐーるの活用）（子どもの成長を願って共に悩み，喜ぶ）（コミュニティ・スクール，学校を核とした地域づくり） （３）教職員にとって「ごきげんな職場」 ・風通しのよい明るい職場 ・やりたいことができる職場 ・成長できる職場 （まずは挨拶，コミュニケーションをしっかりと）（できない，やらない理由を作らずにチャレンジ）（学び，成長する機会の確保 職に誇りと責任を）	
ビジョンの設定理由 （本校の現状と課題）	○児童は，学力が高く真面目であるが，全体的におとなしく控えめである。体力テストの結果（学年別男女別）では，１年男子，６年女子を除いて東京都平均の数値を下回っている。児童が自分のよさに気づき，自分のよさを生かすことができるよう，環境を整え，活力に満ちた学校にすることが課題である。 ○不登校及び不登校傾向のある児童が多い。家庭，SC，関係機関と連携した組織的な対応を進めること，また，コミュニティ・スクールとして，「地域とともにある学校」づくりを推進することが課題である。 ○教科担任制を生かし，校内研究や OJT を通して，教員の指導力を向上させること。また，個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ，主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を行うことが課題である。
中期的な経営目標	
① 自他の命を大切にし，人と人との良い関係を築く力の育成 ② 自ら課題を発見し，解決していく力の育成 ③ 心と体を鍛え，前向きに行動する力の育成 ④ 学校・家庭・地域が協働して子どもたちの豊かな成長を支えていく学校づくり ⑤ 美しい環境の学校づくり 人・組 ・授業力の向上 ・校務分掌の活性化 ・服務規律の徹底 ・ライフ・ワークバランスの推進	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
① 豊かな心(徳)	② 確かな学力(知)	③ 健やかな体(体)
(1) 取組目標（具体的方策） ①教科担任制や交換給食を通して子どもの良さを多面的・多角的に見取り，自己肯定感・自己有用感を育む。 ②集団への所属感を高め，充実した学校生活を送るために行事を改善する。また，道徳授業改善のためにローテーション授業を行う。 ③学校生活アンケートを毎月実施するとともに児童や保護者の声に耳を傾け，素早く丁寧で誠実な対応をし，心の居場所づくりに努める。	(1) 取組目標（具体的方策） ①週ごとの指導計画を作成，提出し，計画的な指導を行い，基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る。 ②主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善，子どもを主語にした学習を推進する。 ③一人１台モバイル端末を効果的に活用し，個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。	(1) 取組目標（具体的方策） ①挨拶を核とした基本的な生活習慣の定着を図る。 ②栄養士による給食メモ，養護教諭による保健指導を通して，心身の健康の保持増進に関する意識を高める。 ③ねらいを明確にし，運動量を確保した体育授業を行うとともに，持久走週間・なわ跳び週間等の体育的活動を通して体力の向上を図る。
(2) 成果目標（数値目標） ①市・魅力ある学校づくり調査「学校が楽しい」55%以上 ②市・魅力ある学校づくり調査「みんなで何かをするのは楽しい」70%以上 ③保護者アンケート「子供たちが安心して生活できる」A 評価 55%以上	(2) 成果目標（数値目標） ①国・学力調査・平均正答率国語 70%以上・算数 70%以上 ②市・魅力ある学校づくり調査「授業に主体的に取り組んでいる」45%以上 ③市・魅力ある学校づくり調査「授業がよく分かる」50%以上	(2) 成果目標（数値目標） ①保護者アンケート「お子さんはすすんで挨拶ができる」A 評価 30%以上 ②都・体力調査「朝食を毎日食べる」90%以上，「毎日 8 時間以上寝ている児童」65%以上 ③都・体力調査「体力合計点」東京都平均以上を達成した学年（男女別）50%以上
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
④ 保護者・地域との連携	⑤ 美しい環境の学校づくり	
(1) 取組目標（具体的方策） ①保護者の来校機会を毎月確保する。HP を年間 200 回更新する。 ②学校運営協議会で熟議を重ね，地域とともにある学校づくりを進める。	(1) 取組目標（具体的方策） ①靴箱の靴をそろえることや清掃の指導を継続して行う。 ②FF 暖房機撤去，教室ロッカー，壁，掲示板の改修を計画的に行う。	
(2) 成果目標（数値目標） ①保護者アンケート「家庭で学校の出来事が話題になる」A 評価 50%以上 ②保護者アンケート「地域・保護者と協力した教育活動」A 評価 50%以上	(2) 成果目標（数値目標） ①靴箱の靴がそろっている学級，清掃が行き届いた学級60%以上 ②保護者アンケート「教育環境の整備に努めている」A 評価 40%以上	

人材育成・組織運営
○授業力の向上 ・教科担任制を生かした OJT の推進 ・校内授業公開64 回実施による学び合いの機会確保 ・校内研究会の充実 ○校務分掌等の活性化 ・主幹教諭を核とした組織運営の推進 ・起案文書の流れを徹底し，職の立場と役割を明確にし，意識を向上させる。 ○服務規律の徹底 ・定期的な研修と服務ニュースレターを活用した校長講話により，教育公務員としての自覚と人権意識を高める。 ○ワーク・ライフバランスの推進 ・校務支援システムを最大限活用し業務を効率化させることで，全教員の 1 か月の時間外勤務 4 5 時間以内を目指す。